

別 冊

ジュニア選手トレーニングセンター事業
提出書類・記入例一覧

【添付書類】

1. 事業申請に関する書類

- 1) 質問書・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2) 応募申請書・・・・・・・・・・・・ P 2
- 3) ヒアリング日程調査・・・・・・・・ P 3
- 4) 事業計画書・・・・・・・・・・・・ P 4～P 5
- 5) 取下願・・・・・・・・・・・・・・・ P 6

2. 事業実施に関する書類

- 1) 事業報告書・・・・・・・・・・・・ P 7

ジュニア選手トレーニングセンター事業にかかる質問書

事業計画書の作成及び事業の実施に当たり、質問事項があれば期日までにメールにてご提出ください。

【提出期日】令和4年2月10日（木）12時

【提出方法】電子メールへの添付（E-mail：m-sports@mspf.jp）

【提出先】公益財団法人宮城県スポーツ協会

スポーツ推進部ジュニアスポーツ課 あて

質問者	競技団体名	
	担当者	氏名： TEL： Mail：
質問内容		

(様式1号)

令和4年 月 日

公益財団法人宮城県スポーツ協会
会長 鈴木 省三 殿

競技団体名 宮城県〇〇〇協会
代表者氏名 (役職名・氏名)

印

ジュニア選手トレーニングセンター事業にかかる応募申請書について

このことについて、下記の通り提出いたします。

記

1 応募希望について

	希望します	希望しません
ジュニア選手トレーニングセンター事業	○	

担当者：

連絡先：

(宛先) 公益財団法人宮城県スポーツ協会 ジュニアスポーツ課 高橋 あて FAX : 022-356-8267 E-mail : m-sports@mspf.jp	(件名) スポーツ選手強化対策事業における募集内容審査のためのヒアリング日程調査について (回答)	(発信日) 令和4年 月 日 (発信者) 氏名 : 連絡先 :
---	--	---

応募内容審査のためのヒアリング日程調査回答

【回答期限】 令和4年2月21日（月）12時まで

【回答方法】 下記スケジュール表へ都合の悪い日程に×をつけてください。

【提出方法】 メールへの添付

《ヒアリング内容》

実施を希望する下記2事業に対する募集内容審査に係るヒアリングの実施。

- 1) ジュニア選手トレーニングセンター事業について
- 2) みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業について

《ヒアリング日程》

時間帯	3/8 (火)	3/9 (水)	3/10 (木)	3/11 (金)	3/15 (火)	3/16 (水)
10:00～						
10:30～						
11:00～						
11:30～						
13:30～						
14:00～						
14:30～						
15:00～						
15:30～						
16:00～						
16:30～						
17:00～						
17:30～						
18:00～						

※1 事業申込につき20分（団体入替10分）を予定しております。内容により、ヒアリング終了時間が前後する場合がございますので、予めご了承ください。

※『みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業』と『ジュニア選手トレーニングセンター事業』の2事業の実施を希望する場合は、続けてヒアリングを実施します（時間目安：60分）。

※確定の日程については、調整後速やかに文書にてお知らせします。

【備考】

【様式2号・記入例】

ジュニア選手トレーニングセンター事業 事業計画書

【令和4年2月28日現在】

団体名：宮城県〇〇〇協会

担当者：グランディ 太郎

1 希望動機（本事業の実施を希望する理由を記載してください）

ジュニア選手を対象とした強化練習会を定期的を開催しており、その成果もあってか、ここ3年間で東北大会出場者が25名（うち15名が入賞あるいは優勝）、全国大会出場者が10名（うち3名が入賞あるいは優勝）と競技成績の向上している。

更なる競技力の向上には、指導回数の増加や競技の盛んな他県への遠征等により上位の選手との経験を積むことが重要であるが、その費用については参加の自己負担によるものが大きいため負担を減らすためにも本事業の実施を希望したい。

また、現在活動しているジュニア選手の中には、上記のように東北大会や全国大会で入賞・優勝する者もいるため、将来的な国民体育大会での得点獲得に向け継続した指導を実施したいと考えている。

2 事業目標（本事業を実施するにあたっての事業目標を記載してください）

2022年 (1年目)	一貫した指導体制により、県内の競技力向上を図る。 【東北大会】出場者10名以上・入賞者5名以上 【全国大会】出場者5名以上・入賞者2名以上
2023年 (2年目)	継続した指導による、上位大会へ出場者・入賞者の増加。 【東北大会】出場者20名以上・入賞者10名以上 【全国大会】出場者8名以上・入賞者5名以上

3 事業内容（本事業で実施する内容を記載してください）

1) 地域トレーニングセンター

事業内容	主な事業内容									
	仙南・仙塩・仙北の3地区に分かれ実施する。 各地区での練習にあたっては、地元講師を中心に指導に当たる。 地域全体の競技力向上を図るため、基礎的トレーニングを実施し、また、普段対戦しない相手と模擬試合を行うことで対人経験をなるべく多く積ませる。									
実施回数 (年間)	8	回程度	参加人数 (年間)	小学生	80	名程度	中学生	50	名程度	

2) センtralトレーニングセンター

選考方法	地域トレーニングセンター内で試合形式等による選考を行い、各地区で特に優れた30名ずつをセンtralトレーニングセンターの参加者として選抜を行う。 <u>※選考ができない場合は、その理由をご記載ください。</u>									
事業内容	主な事業内容									
	地域トレーニングセンターから選抜された参加者であるため、外部講師を招聘する等でより高度な内容とする。また、試合形式の機会を多くすることで、より実践的な内容とする。 併せて、普段所属するチームでも取り組むことのできる内容を盛り込むことで、県内全体の競技力向上を図る。									
実施回数 (年間)	5	回程度	参加人数 (年間)	小学生	60	名程度	中学生	30	名程度	

3) 県外遠征

選考方法	セントラルトレーニングセンター内での練習の取り組みや成績など総合的に判断し、指導者5名による選考会議を実施し選抜を行う。 <u>※選考ができない場合は、その理由をご記載ください。</u>									
事業内容	主な事業内容									
	競技の盛んな都道府県へ遠征を行い、同年代のトップ選手との合同練習会を行う。 普段とは異なる練習メニューや上位選手との試合を行うことにより、普段とは異なる刺激を与える。 また、遠征後は反省会を実施し、どのような課題や反省があるかを整理することで、更なる競技力の向上を図る。									
	実施回数 (年間)	2	回程度	参加人数 (年間)	小学生	15	名程度	中学生	15	名程度

4 現在の取り組み (指導体制、小・中学生の競技人口、強化策など現状を記載してください)

指導体制	県内には、クラブチーム8団体・学校部活動1校が活動をしている。 ジュニア選手の指導には役員15名や成年選手があたっている。
競技人口	学校部活動が少ないため、クラブチームでの活動が中心である。 また、少子化によりジュニア選手が減少傾向にある (小学生80名、中学生45名)。
強化策	毎週火・日曜日に競技団体主催の強化練習会を行っている。 毎年2回程度中央競技団体より指導者を招聘し、更なる強化を図っている。
その他	競技人口の拡大を図るため、年に数回協会主催の体験イベントを開催し、競技の普及に努めている。

5 有望なジュニア選手 (現在活動している小・中学生で将来有望な選手がおりましたら記載してください)

氏名	学年	主な競技成績
宮城 一郎	小学5年生	東北ジュニア選手権大会 ○○競技 優勝
利府 花子	中学1年生	全国中学生選手権大会 ○○競技 出場

※記入欄が足りない場合は、別紙にまとめて提出してください。

6 自由記述

みやぎジュニアトップアスリートアカデミー事業と連携することで、競技経験は浅いが身体能力に優れたジュニア選手を早期のうちから指導し、将来の有望選手を育成したいと考えている。

(様式3号)

令和4年 月 日

公益財団法人宮城県スポーツ協会
会長 鈴木 省三 殿

競技団体名
代表者氏名

取 下 願

都合により、令和 年 月 日付けで提出した、下記事業に係る事業計画書（応募希望）を取り下げます。

記

- 1 事業名
- 2 取下理由

担当者：
連絡先：

【記入例】

ジュニア選手トレーニングセンター事業
事業報告書

作成日：令和5年3月20日

団体名	宮城県〇〇〇協会
担当者	グランディ 太郎

成果	
	<p>本年度は、地域トレーニングセンターを計10回、セントラルトレーニングセンターを計8回、県外への遠征を計2回実施することができた。</p> <p>また、セントラルトレーニングセンターの様子を見学可にしたり、実施内容を持ち帰り積極的に発信することを参加者へ促すことにより、残念ながら選考されなかった者に対しても一定の技術の伝達はできたと考える。</p> <p>その成果もあってか、東北大会での入賞あるいは優勝が昨年度より3名増加した。</p> <p>【主な競技成績】</p> <p>宮城 一郎 東北ジュニア選手権大会 〇〇競技 優勝 全日本ジュニア選手権大会 〇〇競技 第7位（入賞）</p> <p>利府 花子 全国中学生選手権大会 〇〇競技 優勝</p> <p>仙台 太郎 全日本代表選手へ選出（平成10年参加者）</p>
改善点	<p>ケガ等によるコンディショニング不良を訴えるものが例年と比較しても多い状況であった。</p> <p>実践的なトレーニング方法だけでなく、身体のケアに関する内容も取り入れることを検討したい。</p>
今後の目標	<p>本年度は全国大会の出場者が5名であったことから、10名出場を目標とし、うち3位以上を6名排出することを目標としたい。</p> <p>また、みやぎジュニアトップアスリートアカデミー出身の1名が競技を始めて約1年で県大会優勝と着実に力をつけていることから今後注視して指導にあたっていきたい。</p>
担当者所感	<p>本年度の参加者から、念願であった全国大会の優勝者が誕生した。</p> <p>今後も継続した競技成績を残すためにも、改善点を整理し、本事業に取り組みたい。</p>